

「とちぎ観光立県戦略2026-2030（仮称）」素案に対する意見募集を行った結果、1名の方から7件の御意見を頂きました。貴重な御意見ありがとうございました。

提出された御意見を十分検討の上、それに対する県の考え方を次のとおりまとめました。

項 目	意 見 の 内 容	意見に対する考え方
観光施設の拡充	<p>来県目的で最も多い温泉と観光施設の拡充が必要。特に鬼怒川温泉は目玉でありながら廃墟ビルが多い。温泉の無形文化遺産登録に向けた取組推進や新たに栃木県内の商店物品が買える施設、日帰り温泉ができる施設が必要ではないか。</p>	<p>廃墟につきましては、基本戦略1の主要施策③に基づき、景観悪化の改善促進を図って参ります。</p> <p>また、温泉につきましては、本県の有力な観光資源の1つであることから、無形文化遺産登録に向けた動きを好機と捉え、基本戦略2の主要施策⑧に基づき、一層の誘客を図って参ります。</p>
レジャー施設の誘致等	<p>栃木県での来県目的ではレジャーランドが乏しかった。若者層を取り込む為、新たな栃木の自然をテーマにした有名レジャーランドの誘致や地元企業が監修する栃木ならではの新しい施設等を作る必要があるのではないか。</p>	<p>「V戦略策定のための分析」において、将来的なリピーター確保を目指し、国内誘客の主なターゲットに若年層を新たに設定しました。今後は、基本戦略2の主要施策⑧に基づき、まずは若者を中心として集客が見込める映画・アニメ等のロケ地を活用した誘客促進を図って参ります。</p>
国際スポーツ大会の誘致等	<p>サッカー日本代表戦をカンセキスタジアムへ誘致してはどうか。</p> <p>また、より県外からの観客が楽しめるよう栃木県内にホームタウンに置くチームの試合が観戦しやすいようなプランを立てて紹介してはどうか。</p>	<p>栃木県スポーツコミッションが中心となり、国際大会などの大規模スポーツ大会の誘致に向けて取り組んで参ります。</p> <p>御意見を踏まえながら、引き続き基本戦略2の主要施策⑦に基づき、スポーツツーリズムの推進及びスポーツ等を活用したMICEの促進を図って参ります。</p>

<p>ロケ地を活用した観光</p>	<p>アメリカのハリウッド等では名作が撮影された場所に案内板が壁などに埋め込まれている。映画のロケ地が分かるような目印を設置し、観光向けにしてはどうか。</p>	<p>栃木県フィルムコミッションにおいて、映画やドラマのロケ地をまとめた「とちぎ県ロケ地マップ」を作成し、県内のロケ地の周知に努めているところですが、引き続き、基本戦略2の主要施策⑧に基づき、ロケ地やアニメの舞台を活用した誘客促進を図って参ります。</p>
<p>免税店の普及活動</p>	<p>小売店を免税店として対応できるようサポートができる部署を設置してもらいたい。 また各観光スポットに免税店対応の手続き所を設けたり、近くのデパートで対応できるようにしてほしい。</p>	<p>2026年11月から外国人向け消費税免税制度が大幅に変更され、リファンド方式へと移行されることから、国が実施する各種支援策について情報収集に努めるとともに、基本戦略1の主要施策③に基づく観光客の利便性や満足度が向上するための受入環境整備を促進して参ります。</p>
<p>外国人観光客の誘客促進</p>	<p>海外観光客がより観光しやすいようインバウンド対策をしっかりとできるサポートをしていただきたい。例えば、県が推奨するインバウンド対策店等にステッカーを掲示することや近年は特に体験型観光が注目されているため、工場見学、弓道体験、着物着付け体験、和菓子作り体験、お茶体験などができるオプションツアーの拡充等をしてはどうか。</p>	<p>日本人の人口減少が進む中、海外観光客の誘客は今後も重要であることから、基本戦略2の主要施策⑩に基づき、外国人観光客向けの体験型コンテンツを活用したツーリズムの推進等に努めて参ります。</p>
<p>滞在時間の長期化</p>	<p>県内市町村が連携し観光客がより行き交いしやすい環境づくりが必要ではないか。</p>	<p>本県観光の観光消費額を増やしていくためには、滞在時間の長期化を図る必要があると考えております。そのため、基本戦略2の主要施策⑦に基づき、市町等の連携強化を図るとともに、基本戦略1の主要施策④に基づき、観光地へのアクセス向上の取組を進めて参ります。</p>